



エイズ予防財団 電話相談

厚生労働省委託事業

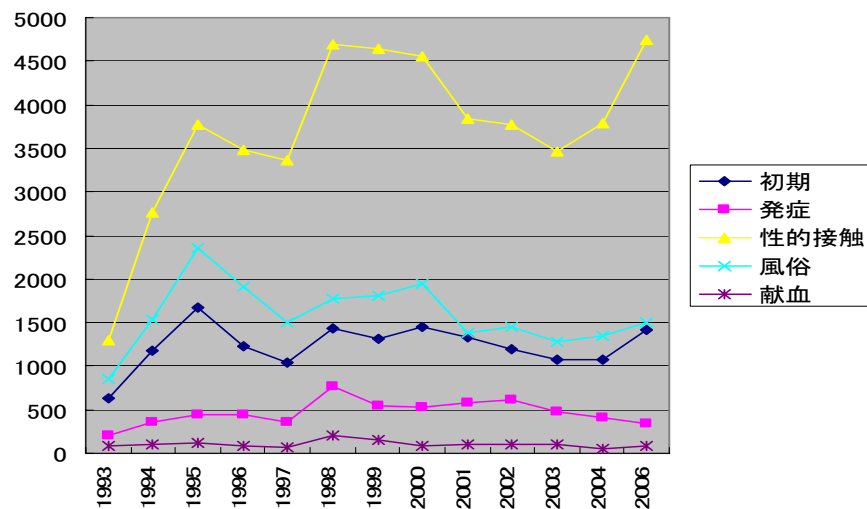


電話相談の経緯

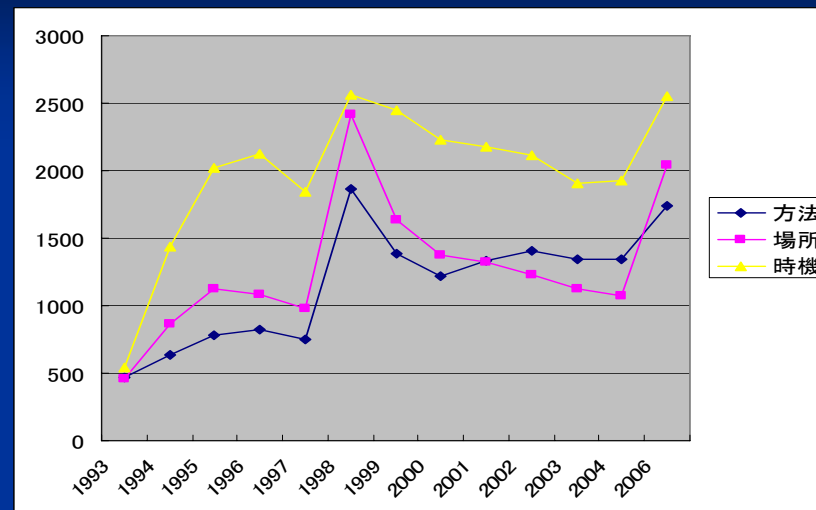
- 開始時
 - 1991年 無料電話相談(一回線)開始
 - 1993年 シフト制導入; 約20名の相談員
~1~2名/日
 - 1995年 二回線に増設; 3名/日
- 現在
 - ・ 二回線、12名の相談員
 - ・ 平日 10:00~13:00 14:00~17:00
 - ・ 相談員の情報提供ツールとして、また相談のデータ入力のため、各自がコンピューター使用
 - ・ 研修 (年2回)



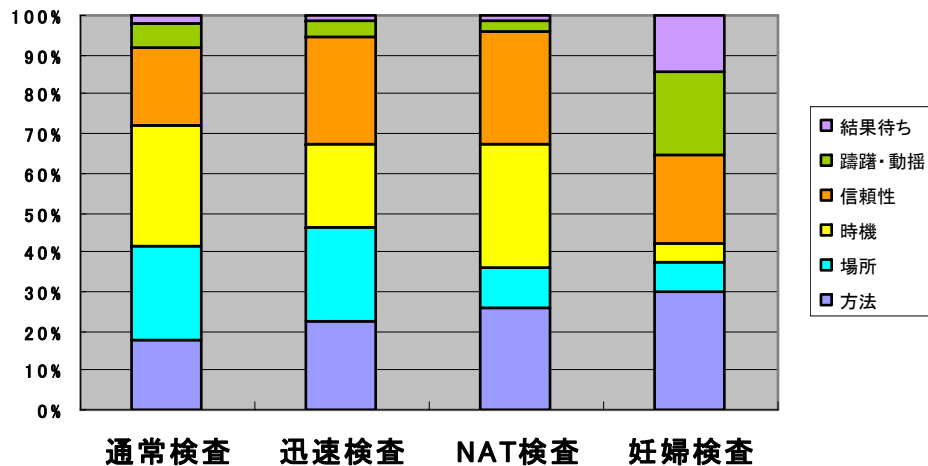
相談項目別 相談件数の推移



検査・相談件数の推移



各検査についての相談内容



各検査と電話相談

◆ 通常検査

・単に検査の日程・場所を確認するより、自身の検査のタイミング、信頼性を確認している

◆ 妊婦検査

・相談の分布から、妊婦検査への相談者の混乱が見受けられる。

◆ 迅速検査・NAT検査

・両検査に対し、信頼性の質問が多く寄せられている。NAT検査では、時機と方法についての質問が多い。

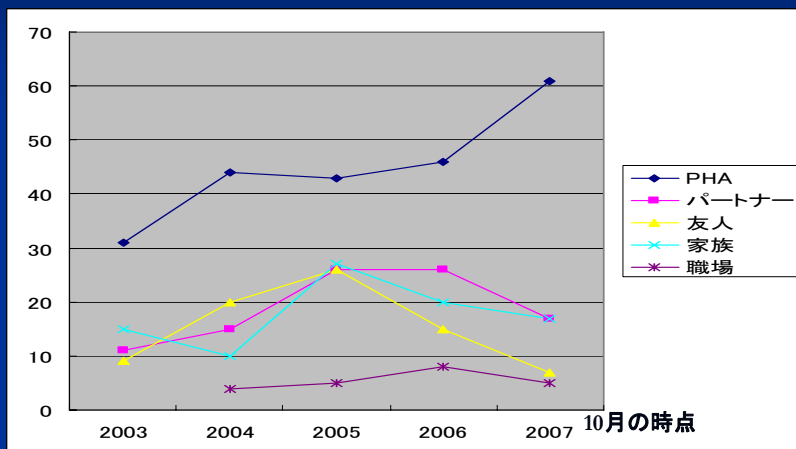


【電話相談 対応】

★ 各自が持つ上記の疑問に丁寧に答えていくことが受検行動を促す支援となる。

★ 受検への躊躇、不安: 受検の一步手前
本人の受検への迷い・躊躇感の支援
次の行動への**繋ぎ**

HIV陽性者とその関係者からの相談の推移



HIV陽性者とその関係者からの相談内容 (2006年)

順位	内容	伸べ件数
1	病気への不安感	56
2	服薬行為	46
3	発症	41
4	治療方法(薬剤、副作用)	30
5	告知・精神的打撃	28
5	医療者との関係	28
6	就労	27
7	見通し	25
7	福祉	25
8	地域資源	22
9	周囲(非パートナー)への告知	17
10	情報漏洩	12
	*セーフアセックス; 社会参加; 不眠	

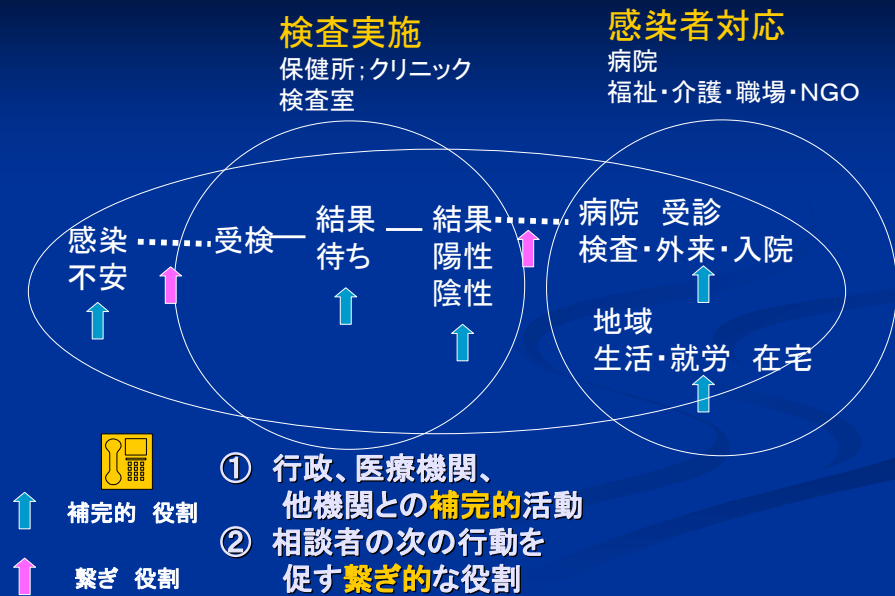
複数回答



電話相談

・心理的支援
・日常生活
(地域; 医療)への
情報提供と支援
①オリエンテーショ
ン
②資源の紹介

HIV対策と電話相談の位置づけ(役割・機能)



電話相談の役割と今後の活動

【役割の強化】

- 補完
- 繋ぎ
 - ・他の電話相談；他の機関との繋がりと相互理解の推進（研修などを通し）

【情報発信】

- センサー機能の発揮
 - ・定期的な電話相談の分析と提言